

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

計画の名称	東広島市西条第二地区における災害に強いまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	東広島市												
計画の目標	本市は、近い将来発生が予想される南海トラフ巨大地震の防災対策推進地域に指定され、建物の倒壊やライフラインの分断、津波による海岸部の浸水といった被害が想定されている。また、近年においては、全国各地で激甚・大規模災害が多発していることや、平成30年7月豪雨災害で被災したことから、災害時における避難場所の確保等が喫緊の課題となっている。JR西条駅に近接する西条第二地区は、駅を中心としたコンパクトなまちづくりを進めているエリアであり、近年、急速に宅地化が進んでいる。周辺には、地域住民の日常的な憩いの場、災害時の避難場所として機能する公園が不足していることから、避難場所となる公園の整備や近隣小学校の児童・地域住民等を避難場所に誘導する環境づくりが必要である。また、地域の安全性を確保する防災機能も不足していることから、公園整備にあわせて、避難者の食糧・飲料水・生活必需品等を確保する備蓄倉庫や緊急用の飲料水を確保する耐震性貯水槽、災害時のトイレ不足を解消するマンホールトイレ等の機能を備えていく必要がある。なお、同公園に遊具を設置することにより、近隣の子どもたちが遊びを通じて避難場所や防災に係る認識・関心を高めるほか、地域住民と学校が連携し、防災安全教育を実施していくものとする。さらに、公園に照明灯を設置することにより、防犯機能の向上を図るなど、子どもの安全対策を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,526	A	1,366	B	0	C	160	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	10.48	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)		(R7末)
1	西条第二地区に住む住民1人当たり避難場所面積を0.7㎡（R2）から2.0㎡（R7）に増加			
	西条第二地区に住む住民1人当たり避難場所面積 （西条第二地区の公園面積）／（西条第二地区の人口）	1㎡/人	㎡/人	2㎡/人
2	指定避難所（寺西小学校）に災害物資を届ける輸送時間を18分（R2）から9分（R7）に短縮			
	指定避難所（寺西小学校）に災害物資を届ける輸送時間 （市役所本庁舎から備蓄倉庫を経由して寺西小学校に着くまでの距離）／（災害時における車両の平均速度）	18分	分	9分
3	当該避難場所を認知している児童の割合を0%（R2）から100%（R7）に増加			
	当該避難場所を認知している児童の割合 （寺西小学校に通う児童で当該避難場所を認知している人数）／（アンケート回答者数）	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---



C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												R03	R04	R05	R06	R07						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	東広島市	直接	東広島市	—	—	被災地における復興まちづくり総合支援事業（西条第二地区）	遊具、パーゴラ、東屋、マンホールトイレ（便器・テント）、避難誘導案内板等	東広島市					■	■	160		—		
		遊具等の設置で、子どもや地域住民への認知度の向上を図るとともに、マンホールトイレの設置で、災害時避難場所としての機能を高める。また、避難誘導案内板を設置し、避難誘導の円滑化を図る																				
													小計							160		
													合計								160	

